

江井島中学校区 補導委員会だより

令和元年(2019)年7月17日
江井島中学校区補導委員会
事務局 江井島中学校
TEL 078-918-5885
FAX 078-918-5886

青空のまぶしい日々となりました。皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私たち補導委員(小学校教師2名 中学校教師4名 地域の方6名)は、今年度も夏休みの夜間パトロールを実施いたします。オレンジのベストが目印ですので、何か気になることがございましたら、お気軽に声をおかけいただき、情報の提供をいただきたいと思います。子どもたちの心の変化を見逃さないため、また、不審者や変質者から子どもたちを守るため、地域、家庭、学校が連携して取り組んでいきますようお願い申し上げます。

学期に一度この紙面を通して、校区内の状況や小中学校内の様子について地域に発信して参りますので、是非ご一読ください。

江井島中学校区補導委員12名で、今年度も全力で活動しておりますので、よろしくお願ひします。

小学校より

日頃より、スクールガード江井島小学校区の皆様をはじめ、PTA愛護部の皆様、地域の皆様には、児童の安全にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。家族旅行や帰省、地域のお祭りや花火大会など、家族や地域の方々と過ごす時間がたくさんあります。その一方、子どもたちだけで過ごす時間が多くなるのもこの時期です。平日の昼間、子どもたちは公園をはじめ、校区の様々なところで遊んでいます。遊びに熱中するあまり、近隣に住む方々のご迷惑になっていることもあります。時には道路や水場といった危険な場所で遊んでいることもあります。学校で指導を行っておりますが、そんな子どもたちの姿を見かけられましたら、ぜひお声がけをいただければと思います。

加えて、全国各地で子どもが被害にあう事件・事故が後を絶ちません。子どもたちの力では危機を脱することや危険に気づくことが難しい事案が増えています。我々地域の大人が子どもたちを見守っている姿を広げていくことが子どもたちの安全を守ることにつながります。子どもたちの安全・安心のために今後もよろしくお願ひします。

- 6時までには必ず家に着くように帰りましょう。
- 子どもだけで校区外や大型店舗に行ってははいけません。
- 子どもだけで海・川・ため池・水路など水の事故につながるおそれがある場所には行ってはいけません。
- 自転車の危険な乗り方(とびだし、スピードの出すぎ、二人乗り、2台以上並んで走るなど)はしません。

中学校より

平素より本校の教育活動に、ご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。1学期、3年生は沖縄への修学旅行。2年生はトライやる・ウィークを行いました。

修学旅行では二日目のマリン体験時に、激しい雨にみまわれ一部活動内容を変更いたしました。その他の行程については予定通り行うことができました。平和学習はもとより、兵庫県とは大きく異なる風土や文化に触れて充実した体験になりました。2年生も地域の中で様々な体験を行い、様々な仕事や年代の方々と触れ合うことにより、普段の学校生活の中では経験することができない貴重な経験を積むことができました。1年生もトライやるの体験発表会に参加し、来年の活動に向けてのイメージを持つことができました。

また、5月の8日にはネット関連講演会を行いました。年々、被害者が低年齢化してきていること。また、課金やデジタルタトゥーなどの被害の大きさに驚き、スマホなど情報機器の使い方について、お家の人も話合う機会を持つことができました。

さて、いよいよ夏休みです。3年生については、自分の進路実現に向けて少しでも実力をつけなければなりません。危機感をもって学習に取り組んでください。2年生は、部活動で中心的な役割を果たしていくこととなります。先輩の残した良い伝統を引き継ぎ、さらに一歩でも積み上げられるよう取り組みたいです。1年生は中学校で初めての夏休みです。宿題も多いです。部活も暑くて大変です。熱中症など、体調に気をつけて、部活に学習に取り組ましましょう。そして、お家のお手伝いや長期休業中にしかできないことができるとういことです。

それでは、病気や事故に十分気をつけて充実した夏休みを過ごして下さい。

校区補導委員より

私たちのまち明石市は、今年が市制施行100周年の年だということをご存じでしょうか。実は、明石市の補導委員会も今年2月、設立50周年の式典を開き、そろって節目の年を迎えることができました。100年、50年というのは簡単ですが、それぞれここに至るまでには、まさに山あり谷ありの歴史だったと聞いています。

かつて学校では、暴力やたばこ、器物破損など、様々な問題行動が頻発していましたが、このところ、江井島を含めて市内の子どもたちは本当に落ち着いてきており、私が青少年活動に関わりだした10数年前と比べても、見違えるほど健やかになったように感じます。あいさつ一つ取ってみても、今の江井島の子どもたちはとてもさわやかで気持ちのいいあいさつを返してくれます。何事でもそうですが、良い方向に変えることは簡単なことではありません。長い月日と地道な努力が必要です。子どもたちがこのように落ち着いて、きちんとあいさつができるようになったのも、学校や園、地域が年月をかけて少しずつじっくりと子どもたちを育ててくれたおかげではないかと思ひます。

江井島校区では現在、12人の補導委員が活動しています。年齢も経歴もそれぞれの12人に共通しているのは一つ。子どもたちが健やかに育ってほしいという気持ちです。夏が近づくと子どもたちの動きが活発になりますし、江井島校区内でも変質者の目撃情報が県警のメールで届くなど、気になる情報も増えてきます。私たちはそういった情報も参考にしながら、夏休みにはパトロール回数を増やすなど活動を強化することとしています。

明石市補導委員会は51回目の夏を迎えましたが、補導活動にはこれで終わりということはありません。子どもたちの行動パターンも昔に比べて大きく変わり、私たちも戸惑うことも多いのですが、できることを精一杯やっいていこうと思ひています。地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。